



1. 本大会はワールドラグビーが定める2021～2022の国際競技規則に則って行われるが、以下に示すようにローカルルールを適用し実施する。
2. 国内の12チームをそれぞれ4チームずつ3プールに分け予選リーグ(総当たり)を行なう。
各プール1位の3チーム、2位の3チーム、3位の3チームのうち上位2チームが1位～8位決定トーナメントに進出する。
各プール3位の3チームのうち下位1チーム、4位の3チームが9位～12位決定リーグに進出する。
3. 試合時間は、予選リーグ 25分ハーフ。順位決定トーナメント・リーグ 30分ハーフとする。(ハーフタイムは5分間)
全ての試合でインジャリertimeを適用する。
4. 予選リーグの順位決定にあたり、勝ち点制を採用する。各試合の勝ち点は、勝ち4点・引き分け2点・負け0点とする。
また、以下のボーナスポイントを与える。
①勝敗に関係なく、相手より3トライ差以上獲得した場合、勝ち点1
②7点差以内で負けた場合、勝ち点1
5. 予選リーグ全試合終了時点で勝ち点が多い順に1位から4位を決定する。複数のチームの勝ち点と同じ場合、以下の順序により順位を決定する。
①当該チームの勝者
②予選リーグ全試合の総得失点差
③総得点
④総トライ数
⑤トライ後の総ゴール数
⑥抽選
6. 順位決定トーナメント・リーグの組合せを決定するにあたり、予選リーグ各プールの同順位3チームで以下の順序で順位を決定する。
①勝点
②予選リーグ全試合の総得失点差
③総得点
④総トライ数
⑤トライ後の総ゴール数
⑥抽選
7. 順位決定トーナメントにおいて同点の場合、以下の順序で勝者を決定する。
①トライ数
②ペナルティトライ数
③トライ後のゴール数
④ファーストトライ
⑤ファーストポイント
0-0の場合、
⑥5名選出のキッキング・コンペティション成功数(ゴールキック位置は競技委員長に一任する)
⑦サドンデス方式のキッキング・コンペティション。ただし、決勝戦で同点の場合は両チーム優勝とする。
8. 順位決定リーグの順位決定にあたり、予選リーグと同様の勝ち点制を採用する。
9. 試合中に競技場内にいる監督・コーチ・スタッフ・選手はチームベンチに位置しなければならない。無線機の使用を認めるが、ビブスを着用したメディカルスタッフ(ドクターおよびセーフティーアシスタント)のみが使用でき、プレーの指示をしてはならない。違反した場合は、競技場より退去させる。(ただし、ベンチ横でのリザーブ選手のウォームアップは認める。)
10. 各試合の登録選手は、大会登録選手30名の中から25名とし(背番号は1～25を用意すること。)、10名までの交替を認める。
(フロントロー3名、その他のプレーヤー7名)
19才未満標準競技規則の通り、入れ替わったプレーヤーは負傷したプレーヤーの交替として、その試合に再び加わることができる。
11. 試合中のケガに対してはメディカルセンターにてテーピング等対応するが、それ以外はチーム負担とする。
12. マッチドクターもしくはメディカルトレーナーは本部より配置する。チームでメディカルスタッフを確保しているチームはこれを認める。
(ビブス着用)負傷時の最終診断はマッチドクターとする。
13. 各種用具については、IRB/ワールドラグビーのロゴ入りのものに限る。(試合前にレフリーによるチェックを行なう)
14. [イエローカード]シンピンの一時的退出時間は7分間とする。
同一試合で同一選手が2回目の一時的退出を宣告された場合、その選手は退場とし、最低限次の1試合を出場停止とする。
本大会中に同一選手が3回目の一時的退出の宣告をされた場合、その選手はその場では退場とならないが、最低限次の1試合を出場停止とし、規律委員会にてその後の処分を決定する。
15. [レッドカード]退場者については最低限次の1試合を出場停止とし、チームに警告するとともに、規律委員会にてその後の処分を決定する。
16. 既に一時的退出の累積、または退場処分により出場停止を受けた選手が、復帰後に再度一時的退出または退場処分を宣告された場合、最低限次の1試合を出場停止とし、規律委員会にてその後の処分を決定する。イエローカード、レッドカードともにその後の他大会への累積はしない。
17. ウォーター係は各チームで用意し、5名まで認める。(ビブス着用)